

データの活用に関する調査

【ご回答時の留意点】

○持株会社制について

・持株会社制を採用している企業につきましては、持株会社単体についてのご回答ではなく、グループ内の事業会社を含めた全体の状況（困難な場合は主要な事業会社の状況）についてご回答ください。なお、親子上場の企業につきましては、親会社のアンケート回答有無にかかわらず子会社もアンケートにご回答ください。

○回答の時点について

・本調査の回答につきましては、時点を具体的に明記していない限り、**2018年度末時点**における状況をご回答ください。

はじめに、本調査における用語の扱いについて、次の説明をお読みください。

・本調査における「データ」とは、現にデジタル化されており、コンピュータが処理することができる状態のデータであり、自社の商品開発・サービス拡大や業務の効率化など自社活用のものに限ります（事業・業務として他者に提供するものは除きます）。

※例えば、他者に提供することだけを目的とした地図データや気象データ、各種データセットなどは除きます。

・本調査におけるデータ「分析」とは、文字、数値、画像、映像などのデータを処理し、知識を抽出する行為です。外部企業等が提供しているデータ解析ツール・サービスを利用している場合も含まれますが、データの閲覧行為やコンピュータが自動的にデータを収集し、判定したりアラートを出したりするもの（例えば、温度が一定以上になったら警告音を出す）は含まれません。

・本調査におけるデータ「活用」とは、データ分析に加え、データの閲覧行為やコンピュータが自動的にデータを収集し、判定したりアラートを出したりするものも含まれます。

1. データの活用について

ここでは、貴社におけるデータの活用状況についてお伺いします。

<全員にお伺いします>

Q1: 貴社では、どのようなデータをどのように処理したものを各領域で活用していますか？ 当てはまるものすべてをお答えください。【1～7については複数回答、1～7のいずれにも該当しない場合は8または9をお選びください】

(A～Gのデータそれぞれについて、該当するものにすべて○をしてください。)

(業務領域が存在しない場合は、「領域なし」をお選びいただき、存在しない領域についてはA～Gにお答えいただく必要はありません。)

(処理については、下記の4つについてお答えください。)

閲覧： データそのものの閲覧

集計： 時期別に集計、企業規模別に集計等の処理

解析： 統計的な分析(相関分析、分散分析など)

AI： 機械学習・ディープラーニングなど人工知能(AI)を活用した予測(物事の関係性や最適行動の分析だけではなく、データに基づく自動化や欠品・不正の判定、モニタリングなどの用途で活用している場合も含まれます。)

(解析・AIについては、外部企業等が提供しているデータ解析ツール・サービスの利用も含まれます。)

	1 経営企画・組織改革	2 製品・サービスの企画開発	3 マーケティング	4 生産・製造	5 物流・在庫管理	6 ポート 保守・メンテナンス・サポート	7 その他(基礎研究、リスク管理等)	8 データを保有しているが、いずれの領域でも活用していない	9 データを保有していない
業務領域が存在しない場合：	領域なし	領域なし	領域なし	領域なし	領域なし	領域なし	領域なし		
A. 顧客(個人)の基本データ(氏名、住所、性別等)	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	8	9
B. 顧客(法人)の基本データ(企業名、住所、資本金等) ※自治体・各種団体等を含みます	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	8	9
C. 顧客等とのやり取りデータ(営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等)	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	8	9
D. インターネット(Webサイト、SNS、モバイルアプリ等)上のアクションデータ(検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等)	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	8	9
E. 人の行動に関するデータ(生体情報、位置情報、カメラ映像等)	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	8	9
F. 機械、機器、車両等の動作に関するデータ(稼働状況、位置情報、速度等)	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	8	9
G. 自然・公共由来のデータ(地図情報、気象情報等)	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	ア. 閲覧 イ. 集計 ウ. 解析 エ. AI	8	9

<Q1で1つ以上「集計」または「解析」または「AI」を選んだA～Gのデータについてお答えください>

Q2: 貴社では、データ分析を行う際、おおよそどれくらい前のデータまでを利用しますか？

(A～Gのデータそれぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

(複数の用途で分析をされている場合は、最も頻繁に分析されている用途における状況をお答えください。)

	1	2	3	4	5	6	7	8
	1 ほぼその日のデータのみ	2 1週間程度前のもので	3 1か月程度前のもので	4 3か月程度前のもので	5 約半年前のもので	6 約1年前のもので	7 1年以上前のもも含む	8 わからない
A. 顧客（個人）の基本データ（氏名、住所、性別等）	1	2	3	4	5	6	7	8
B. 顧客（法人）の基本データ（企業名、住所、資本金等） ※自治体・各種団体等を含みます	1	2	3	4	5	6	7	8
C. 顧客等とのやり取りデータ（営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等）	1	2	3	4	5	6	7	8
D. インターネット（Web サイト、SNS、モバイルアプリ等）上のアクションデータ（検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等）	1	2	3	4	5	6	7	8
E. 人の行動に関するデータ（生体情報、位置情報、カメラ映像等）	1	2	3	4	5	6	7	8
F. 機械、機器、車両等の動作に関するデータ（稼働状況、位置情報、速度等）	1	2	3	4	5	6	7	8
G. 自然・公共由来のデータ（地図情報、気象情報等）	1	2	3	4	5	6	7	8

<Q1で1つ以上「集計」または「解析」または「AI」を選んだA～Fの領域についてお答えください>

Q3: 貴社では、データ分析をどのくらいの頻度(間隔)で行いますか？

(A～Fの領域それぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

	1 ほぼ毎日	2 毎週1回程度	3 毎月1回程度	4 3か月に1回程度	5 半年に1回程度	6 1年に1回程度	7 1年以上の間隔
A. 経営企画・組織改革	1	2	3	4	5	6	7
B. 製品・サービスの企画・開発	1	2	3	4	5	6	7
C. マーケティング	1	2	3	4	5	6	7
D. 生産・製造	1	2	3	4	5	6	7
E. 物流・在庫管理	1	2	3	4	5	6	7
F. 保守・メンテナンス・サポート	1	2	3	4	5	6	7

<Q1で1つ以上選択肢1～7を選んだ方にお伺いします>

Q4: 貴社ではデータを活用する際に、データの品質に関連したどのような取り組みを行っていますか？【複数回答】

1. データの入手元の確認
2. データの正しさの確認(エラーチェック等)
3. プライバシーマークの取得
4. ISMS (ISO27001)の取得
5. その他[

]

<全員にお伺いします>

Q5: 貴社がデータ分析を行う際、どのような体制(部署・担当者)で分析(外部企業等が提供しているデータ解析ツール・サービスの利用も含みます)を行いますか？【複数回答】

データ分析を行う専門部署がある場合は、どのくらい前に当該部署が立ち上がったのかについてもお答えください。
(データ分析を行う専門部署とは、外販するためのデータ分析に関わるハードウェアやソフトウェアの開発などを主目的とするような組織は除き、事業部の中などにあるデータ分析を専門とする組織についてお答えください。)

1. データ分析を行う専門部署の担当者 . . . 専門部署が立ち上がったのは、おおよそ[年前]
2. 各事業部門のデータ分析専門の担当者
3. 各事業部門のデータ分析が専門ではない人
4. 外部に委託している
5. その他[
6. データ分析は行っていない(委託もしていない)

]

<全員にお伺いします>

Q6: 貴社で、データ分析を主な業務とする従業員(正社員だけではなく、データ分析に寄与するパートタイマー・アルバイト・契約社員・派遣社員等を含みます)はおおよそ何人くらいいますか? また、その内、大学院卒(修士または博士の学位を有する)の学歴をもつ従業員の割合はどの程度ですか?
(それぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

データ分析を主な業務とする従業員(2018年度末時点): [おおよそ 人]
 データ分析を主な業務とする従業員(2015年度末時点): [おおよそ 人]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	0%	1%未満	1%以上3%未満	3%以上5%未満	5%以上10%未満	10%以上20%未満	20%以上30%未満	30%以上40%未満	40%以上50%未満	50%以上
大学院卒の従業員 (2018年度末時点)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大学院卒の従業員 (2015年度末時点)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

<Q1で1つ以上「AI」を選んだ方にお伺いします>

Q7: 貴社では、データ活用において、どのようなAI技術を用いていますか?【複数回答】

1. 教師あり学習(回帰分析、判別分析等)
2. 教師なし学習(クラスタリング、主成分分析等)
3. 強化学習(モンテカルロ法、Qラーニング等)
4. 深層学習(ディープラーニング)
5. その他[]
6. AIを活用しているが、具体的な技術はわからない

<Q5 で選択肢 1.~5.を選んだ方にお伺いします>

Q8: データを活用することによる効果(企業活動に対する貢献)についてお伺いします。貴社においては、データ活用に関わる各プロセスが効果にどの程度貢献していると思いますか。

(A~E のそれぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

	1 とても貢献している	2 多少貢献している	3 どちらでもない	4 あまり貢献していない	5 まったく貢献していない
A. データの収集 (収集データの検討、データを収集する仕組みの構築等)	1	2	3	4	5
B. データの加工 (エラーチェック、アノテーション・ラベル付け、分析を想定した整形・加工等)	1	2	3	4	5
C. データの閲覧・集計 (データそのものの閲覧、集計)	1	2	3	4	5
D. データの解析・A I 活用 (統計的な分析、AI を活用した予測等)	1	2	3	4	5
E. 分析結果の解釈 (分析結果を元にした議論や意思決定)	1	2	3	4	5

2. データの蓄積(保有)について

貴社におけるデータの蓄積(保有)状況についてお伺いします。

<Q1で選択肢1.~8.を選んだA~Gのデータについてお答えください>

Q9: 貴社で蓄積(保有)されているデータについて、データの入手元はどちらですか？また、保有しているデータを必要に応じて加工した上で、他社等に提供または共有していますか？【複数回答】

(A~Gのデータそれぞれについて、該当する番号にすべて○をしてください。)

(自社データだけではなく、外部から購入・入手したデータも含まれますが、自社における商品開発・サービス拡大や業務の効率化等に活用するデータに限定してお答えください。他社からデータを一時的に預かり分析結果を納品するような場合のデータは含みません。)

	1 手 自 社 で 直 接 収 集 ま た は 自 社 の 内 部 か ら 入 手 す る デ ー タ	2 自 社 等 が 保 有 す る デ ー タ を 購 入 ・ 入 手 す る デ ー タ (ア ラ イ ア ン ス 等 に よ る 共 同 利 用 を 含 む)	3 公 開 デ ー タ 等 を 無 料 で 入 手 す る デ ー タ (統 計 デ ー タ 、 オ ー プ ン デ ー タ 、 API 活 用 等)	4 自 社 で 保 有 す る デ ー タ を 他 社 等 に 提 供 す る デ ー タ (ア ラ イ ア ン ス 等 に よ る 共 同 利 用 を 含 む)	5 把 握 し て い な い
A. 顧客(個人)の基本データ(氏名、住所、性別等)	1	2	3	4	5
B. 顧客(法人)の基本データ(企業名、住所、資本金等) ※自治体・各種団体等を含みます	1	2	3	4	5
C. 顧客等とのやり取りデータ(営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等)	1	2	3	4	5
D. インターネット(Webサイト、SNS、モバイルアプリ等)上のアクションデータ(検索・アクセスログ、ロコミ・投稿データ等)	1	2	3	4	5
E. 人の行動に関するデータ(生体情報、位置情報、カメラ映像等)	1	2	3	4	5
F. 機械、機器、車両等の動作に関するデータ(稼働状況、位置情報、速度等)	1	2	3	4	5
G. 自然・公共由来のデータ(地図情報、気象情報等)	1	2	3	4	5

<Q1で1つでも選択肢1.~8.を選んだ方にお伺いします>

Q10: 貴社で蓄積(保有)しているデータの内、外部から購入したデータ(無料で公開されているデータやアライアンス等による無償の共同利用のデータは含みません)はおおむねどの程度を占めていますか？データの容量ではなく、**件数ベース**でお答えください。

(把握されていない場合は、ご自身が把握されている範囲のデータについて感覚的なお答えで構いません。)

[おおよそ %]

<Q1 で選択肢 1.~8.を選んだ A~G のデータについてお答えください>

Q12: 貴社で蓄積(保有)されているデータについて、**2018 年度末時点で自社以外から購入・入手したデータ**(無料で公開されているデータやアライアンス等による無償の共同利用のデータも含まれます)は蓄積されているデータのどれくらいの割合を占めていますか？データの容量ではなく、**件数ベース**でお答えください。

(A~G のデータそれぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

(顧客などの数や機器の設置台数(センサー台数)等を想定してお答えください。)

(C のデータについて、対象に個人・法人の両方を含むような場合は、人数と社・団体数を合計した数ベースでお答えください。)

(自社における商品開発や業務の効率化・サービス拡大等に活用するデータに限定してお答えください。他社からデータを一時的に預かり分析結果を納品するような場合のデータは含みません。)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	0 %	5 % 未満	5 % 以上 10 % 未満	10 % 以上 20 % 未満	20 % 以上 30 % 未満	30 % 以上 40 % 未満	40 % 以上 50 % 未満	50 % 以上 60 % 未満	60 % 以上 70 % 未満	70 % 以上 80 % 未満	80 % 以上 90 % 未満	90 % 以上
A. 顧客(個人)の基本データ(氏名、住所、性別等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
B. 顧客(法人)の基本データ(企業名、住所、資本金等) ※自治体・各種団体等を含みます	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
C. 顧客等とのやり取りデータ(営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
D. インターネット(Web サイト、SNS、モバイルアプリ等)上のアクションデータ(検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
E. 人の行動に関するデータ(生体情報、位置情報、カメラ映像等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
F. 機械、機器、車両等の動作に関するデータ(稼働状況、位置情報、速度等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G. 自然・公共由来のデータ(地図情報、気象情報等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

<Q1 で選択肢 1.~8.を選んだ A~G のデータについてお答えください>

Q13: 貴社で蓄積（保有）されているデータについて、**2015 年度末時点と比べて 2018 年度末時点**のデータはどの程度変化（増減）しましたか？データの容量ではなく、**件数ベース**でお答えください。

（A~G のデータそれぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。）

（C のデータについて、対象に個人・法人の両方を含むような場合は、人数と社・団体数を合計した数ベースでお答えください。）

（自社データだけではなく、外部から購入・入手したデータも含まれますが、自社における商品開発・サービス拡大や業務の効率化等に活用するデータに限定してお答えください。他社からデータを一時的に預かり分析結果を納品するような場合のデータは含みません。）

	1 2015年度末時点では保有 していなかった	2 5割以上減少した	3 1~4割程度減少した	4 ほぼ変化なし	5 1割程度増加した	6 2~3割程度増加した	7 4~6割程度増加した	8 7~9割程度増加した	9 2倍以上に増加した	10 わからない
A. 顧客（個人）の基本データ（氏名、住所、性別等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
B. 顧客（法人）の基本データ（企業名、住所、資本金等） ※自治体・各種団体等を含みます	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
C. 顧客等とのやり取りデータ（営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
D. インターネット（Web サイト、SNS、モバイルアプリ等）上のアクションデータ（検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
E. 人の行動に関するデータ（生体情報、位置情報、カメラ映像等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
F. 機械、機器、車両等の動作に関するデータ（稼働状況、位置情報、速度等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
G. 自然・公共由来のデータ（地図情報、気象情報等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

<Q1 で選択肢 1.~8.を選んだ A~G のデータについてお答えください>

Q14:貴社で蓄積(保有)されているデータについて、非構造化データ(業務日誌や SNS の書き込み、音声/画像/映像など規則(構造)が明確に定義されていないデータ)はどれくらいの割合を占めていますか?データの容量ではなく、件数ベースでお答えください。

(A~G のデータそれぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

(C のデータについて、対象に個人・法人の両方を含むような場合は、人数と社・団体数を合計した数ベースでお答えください。)

(自社における商品開発・サービス拡大や業務の効率化等に活用するデータに限定してお答えください。他社からデータを一時的に預かり分析結果を納品するような場合のデータは含みません。)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	0%	5%未満	5%以上10%未満	10%以上20%未満	20%以上30%未満	30%以上40%未満	40%以上50%未満	50%以上60%未満	60%以上70%未満	70%以上80%未満	80%以上90%未満	90%以上
A. 顧客(個人)の基本データ(氏名、住所、性別等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
B. 顧客(法人)の基本データ(企業名、住所、資本金等) ※自治体・各種団体等を含みます	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
C. 顧客等とのやり取りデータ(営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
D. インターネット(Web サイト、SNS、モバイルアプリ等)上のアクションデータ(検索・アクセスログ、口コミ・投稿データ等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
E. 人の行動に関するデータ(生体情報、位置情報、カメラ映像等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
F. 機械、機器、車両等の動作に関するデータ(稼働状況、位置情報、速度等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G. 自然・公共由来のデータ(地図情報、気象情報等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

<Q1 で1つでも選択肢 1.~7.を選んだ方にお伺いします>

Q15: 貴社で蓄積(保有)している全データの内、1 年間(2018 年度)に実際にデータ活用に用いたデータの割合はおおむねどの程度ですか？データの容量ではなく、件数ベースでお答えください。また、3 年前(2015 年度)時点の状況と合わせてお答えください。

(年度それぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

(把握されていない場合は、ご自身が把握されている範囲のデータについて感覚的なお答えで構いません。)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	5%未満	5%以上10%未満	10%以上20%未満	20%以上30%未満	30%以上40%未満	40%以上50%未満	50%以上60%未満	60%以上70%未満	70%以上80%未満	80%以上90%未満	90%以上
A. 2018 年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
B. 2015 年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

3. 市場構造について

貴社の代表的な製品・サービスを投入している市場の競争環境について伺います。

<全員にお伺いします>

Q16: 貴社では **2018 年度** に新製品・新サービスをどれくらい市場に投入しましたか？

(新製品・新サービスとは、機能・性能・設計・原材料・構成要素・用途を新しくしたものだけではなく、既存の技術を組み合わせたものや既存製品・サービスを技術的に高度化したものも含まれます。ただし、製品・サービスの機能面や使用目的が既存のものとは変わらない単なるデザインのみの変更、あるいは他社製品・サービスの単なる販売・提供は含みません。)

1. 0件(新製品・新サービスの投入はなかった)
2. 1～2件
3. 3～5件
4. 6～10件
5. 11～20件
6. 21～30件
7. 31件以上

<全員にお伺いします>

Q17: 貴社の代表的な製品・サービスを投入している市場において、**2018 年度末時点** で、貴社と競合する企業は国内外合わせて何社程度ありましたか？また **2015 年度末時点** から **2018 年度末時点** の変化についても合わせてお答えください。

(それぞれについて、ひとつだけ該当する番号に○をしてください。)

(2015 年度末と 2018 年度末で同じ製品・サービスの市場を想定してお答えください。)

	1	2	3	4	5	6
	0社	1～2社	3～5社	6～10社	11～20社	21社以上
2018 年度末時点の競合数	1	2	3	4	5	6

	1	2	3	4	5	6	7
	6社以上 減少	3～5社 減少	1～2社 減少	変化 なし	1～2社 増加	3～5社 増加	6社以上 増加
2015 年度末時点からの変化	1	2	3	4	5	6	7